

葬儀に関するアンケート

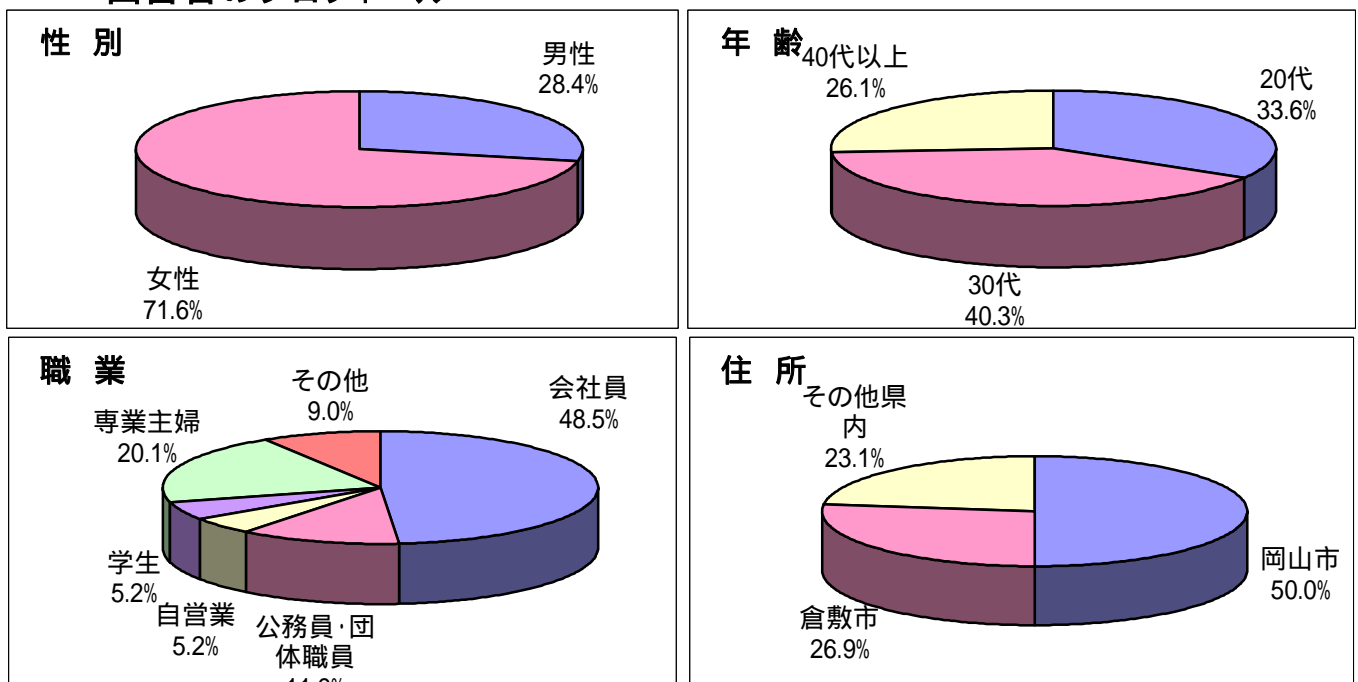
【総評】

突然の葬儀のためか、複数の葬儀社を検討する人は少なく、78.7%が1社のみを検討である。今回の回答者の葬儀経験は、父母や祖父母がほとんどであり配偶者などの喪主の立場の人が少ないためか、葬儀社を知ったのは「家族や親戚、知人などの紹介」が最も高い。次が「病院の紹介」だが、3番目に「建物・看板を見た」があげられている。

父母などの葬儀の場合、葬儀社の決め手は「親戚・知人の勧め」が最も高く、他にも「家の近所」、「担当者の対応」などが上位にある。

調査目的	葬儀場の認知と葬儀経験者の状況を把握する。
調査方法	インターネット調査
調査期間	2006年1月27日～2月2日
調査対象者	岡山県在住のメール会員
サンプル数	有効回答:134件
調査機関	岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール



葬儀の経験

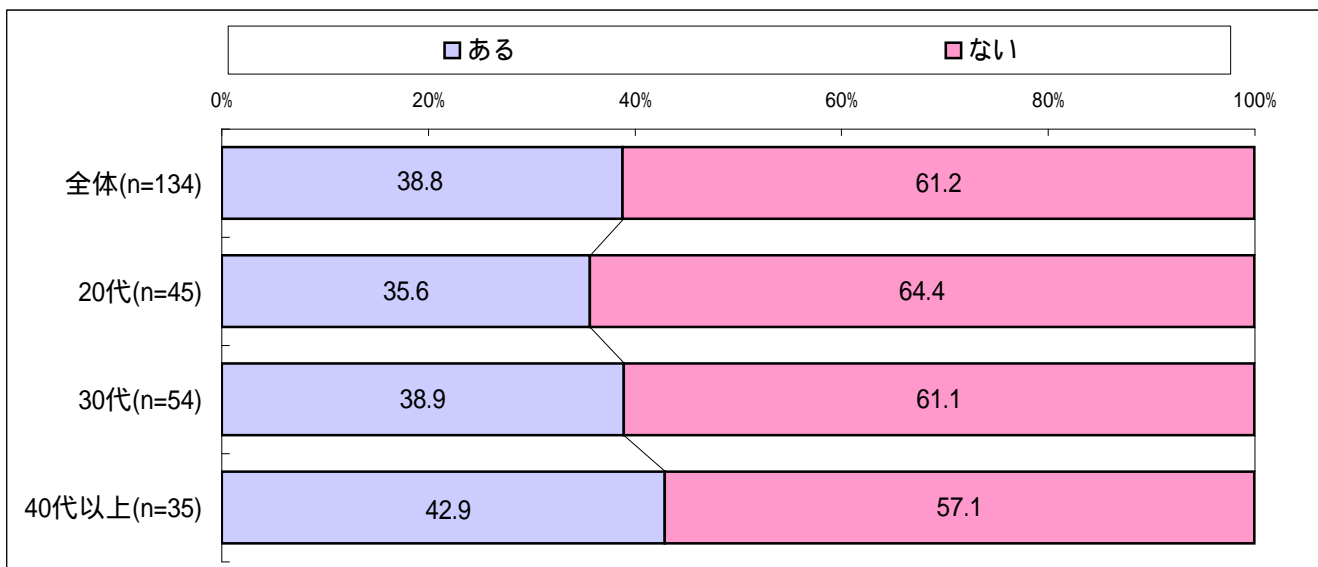
5年以内の「家族」の葬儀の経験者は38.8%だが、そのうち、1親等の葬儀の経験者は15.7%。

5年以内に家族の葬儀を経験したことがあるのは、全体では38.8%。年代が高くなるほど経験者も多くなり、40代以上では42.9%が経験している。

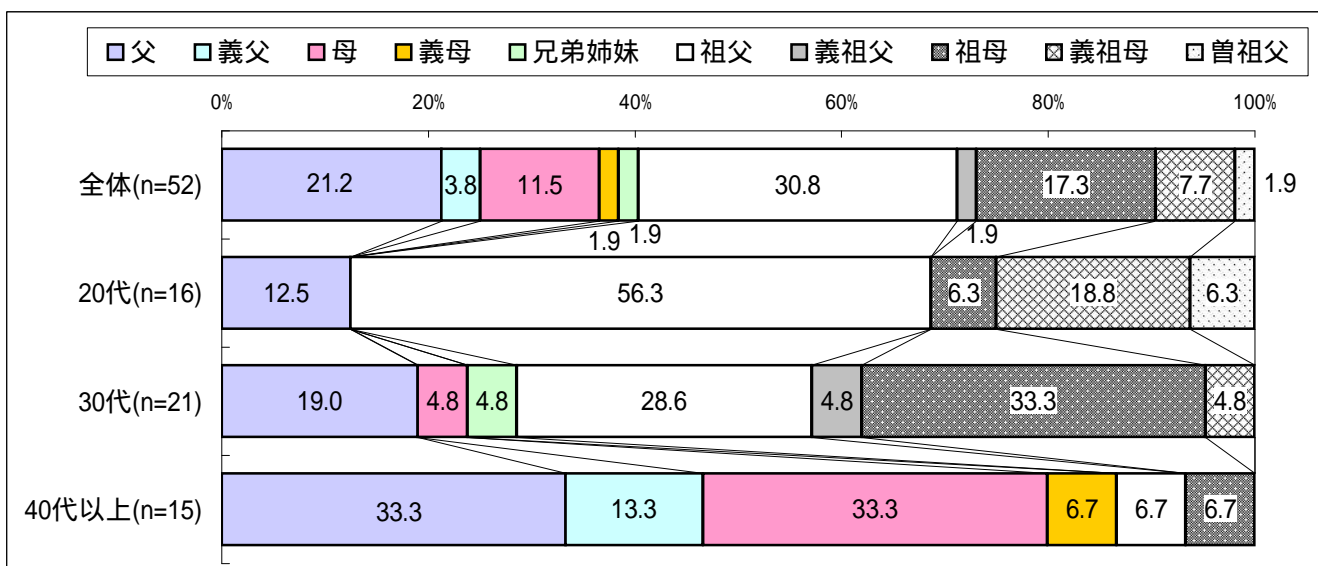
葬儀経験者の故人の続柄を聞いたところ、「父(義父を含む)」が25.0%。「母(義母を含む)」が13.4%で、1親等の家族は40.3%。葬儀未経験者まで含めた回答者全員の中では15.7%にすぎない。その他は祖父母で6割弱を占めている。

20代は祖父母が87.5%を占める。一方で40代以上は1親等が86.6%と、より身近な身内の葬儀を経験している。

5年以内の家族の葬儀経験 (単一回答/全員)



故人の続柄 (単一回答/葬儀経験者のみ)



葬儀の時期と検討葬儀社数

検討した葬儀社の数は7割が1社のみ(1親等葬儀経験者)。

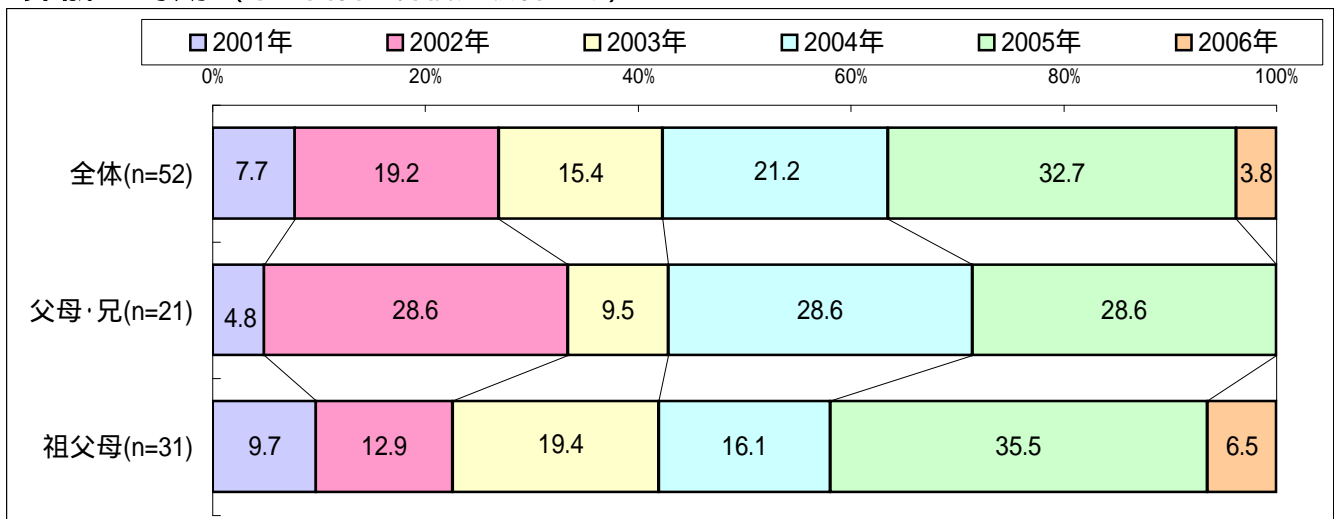
昨年の2005年に葬儀を実施したとの回答が全体では32.7%。父母などの1親等の葬儀は28.6%。

葬儀の際に検討した葬儀社は全体でも「1社」のみが78.7%を占める。「4社」という回答はなく、最も多かった検討数は5社。

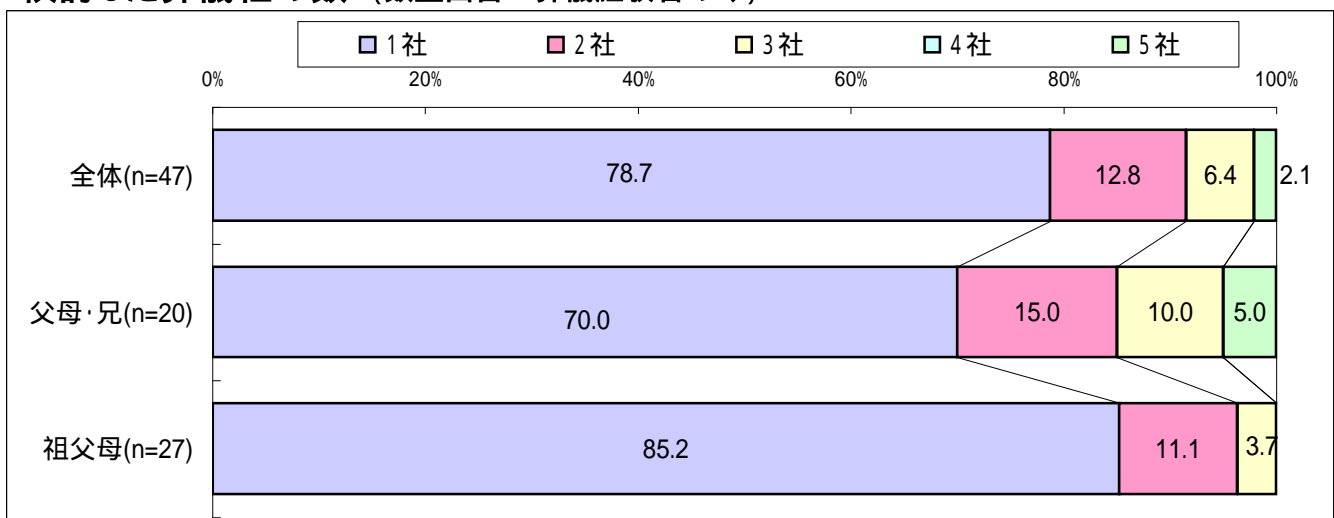
父母等の葬儀でも「1社」が70.0%。次が「2社」の15.0%。急なことのため、多数の葬儀社を検討している時間は無いということかもしれないが、多くの人が複数の葬儀社を比較検討することなく決めている。

祖父母などは親が葬儀を取り仕切るため、回答者は詳細を把握していない可能性がある。

葬儀の時期 (単一回答 / 葬儀経験者のみ)



検討した葬儀社の数 (数量回答 / 葬儀経験者のみ)



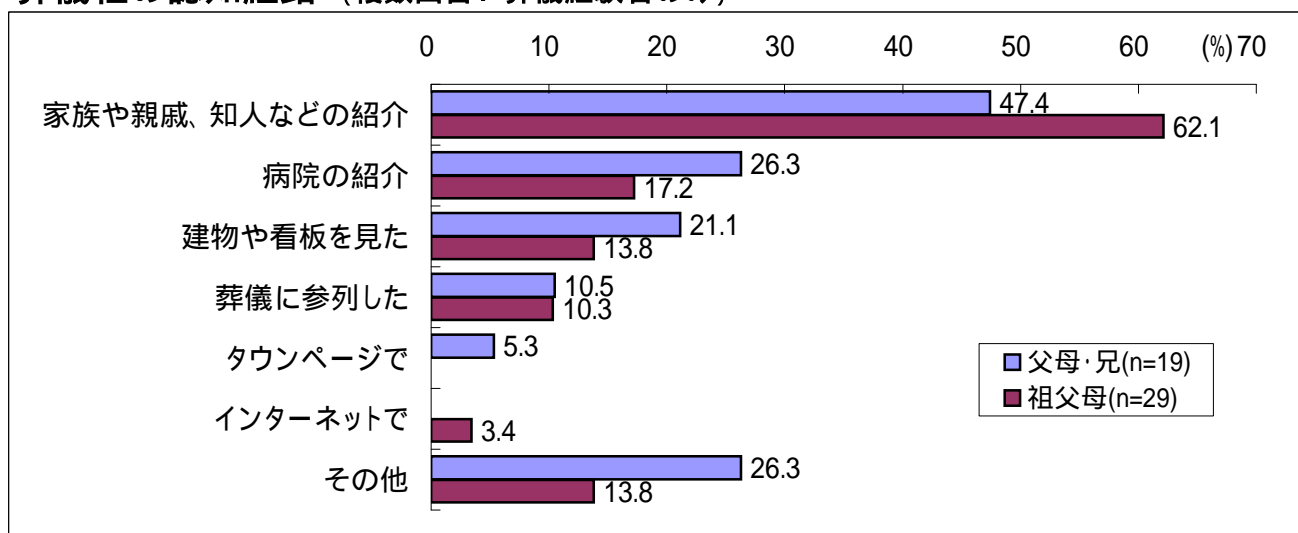
葬儀社の認知経路と決め手

認知経路は周囲の人や病院の紹介。決め手も周囲の人の意見が多い。

父母などの1親等は「家族、親戚、知人の紹介」(47.4%)が最も高く、半数弱。次が「病院の紹介」(26.3%)。人から聞いたケースがほとんどではある。また「病院の紹介」と同率で「その他」(26.3%)があるが、「町内会から」、「互助会」などの回答が見られた。

葬儀社の決め手は、1親等の場合ここでも「親戚、知人などの勧め」(30.0%)が最も高い。他は「家の近所」(15.0%)、「担当者の対応」(15.0%)、「他の家族が決めたので知らない」(15.0%)が同率で続く。祖父母は「家の近所」(36.7%)が最も高いが、「他の家族が決めたので知らない」(30.0%)も3割を占める。その他では、「よく知られている」(26.7%)、「互助会」(23.3%)が2割を超えた。

葬儀社の認知経路 (複数回答 / 葬儀経験者のみ)



葬儀社を決めた理由 (複数回答 / 葬儀経験者のみ)

